

# 美術科学習指導案

日 時：平成 28 年 11 月 17 日（木）公開授業 I

会 場：3 年 A 組教室

学 級：3 年 A 組（男子 15 名 女子 17 名 計 32 名）

授業者：教 諭 野 沢 智 文

## 1 題材名 鑑賞「山田かまち」～青春のメッセージ

## 2 題材について

### （1）教材観

山田かまちは、1960 年（昭 35 年）群馬県高崎市に生まれ、1977 年（昭 55 年）、大学ノートやスケッチブックに描き散らされたおびただしい数のデッサン、水彩画、詩を残し、この世を去った。かまちは幼い頃から絵を描くのが好きであったが、1976 年（昭 51 年）春の高校受験を通して、傷つきながらも戦いに挑み、自分とは・生きるとは・自由とは・愛とは・幸せとは…と問い続け、多くの詩とともに絵やデッサンを生み出した。鑑賞教育とは、作品との出会いであり、対話であるともいえる。思春期特有の悩み、喜び、苦しみを詩や絵に表した山田かま치의作品との対話から、少年の夢と不安が映し出された形や色を感じ取らせ、かま치의心の叫びを共有して生きる喜びを味わい、生きることと表現することの意味を考えさせたい。受験体制の中で生み出された彼の作品を鑑賞することは、同じ受験期を迎える 3 年生にとって、一生懸命生きることと表現することの意味をも深く考える良い機会になると考える。

### （2）生徒観

明るく活発で、興味あることには一生懸命取り組む生徒が多い。「鑑賞」については、事前のアンケート調査の結果、「鑑賞することが好き」が学級全体の 20%、「嫌い」が 16%、「どちらとも言えない」が 64%という結果であった。「好き」な理由としては、「興味がある。人、それぞれの見方ができて楽しい。」「嫌い」「どちらとも言えない」の理由としては、「おもしろくない。じっくりみて特徴を探し出すのが難しい。鑑賞の仕方がよくわからない。」などと答える生徒が一番多かった。今回の鑑賞の授業を通して、鑑賞における視点(形、色彩など)をいくつか提示しながら、鑑賞は決して難しいものではないということを理解させたい。そして、自分なりの自由な感じ方、考え方で作品に迫らせながら、作者のメッセージを感じとらせたい。

### （3）研究との関わり

研究主題「一人ひとりが成長を実感できる指導のあり方」～学びの自覚を促す振り返りを通して～の柱のひとつ、「振り返り」活動の工夫にせまるために、「振り返り」につながる学習課題の意識化を常に図りたい。「振り返り」の具体的な工夫として、授業の週末の「振り返り」を設定し、「作品から感じたことは何か。伝えたかったことは何か。生き方から学ぶことは何か。」などの具体的視点を示しながら、自分の言葉で「書く」作業だけでなく、「話す」ことも行わせたい。

### 3 指導計画及び学習活動における評価規準（時数 1 時間）

時数	学習活動	題材の評価規準			
		美術への関心、意欲、態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
1	「山田かまち」の作品を鑑賞し、味わったことをまとめる。	山田かまちの作品に関心を持ち、込められたメッセージを感じ取るようとしている。			作品を鑑賞し、自分の言葉や文章で感じたことをまとめることができる。

### 4 本時の目標

(1) 目標 ①山田かまちの作品に関心を持ち、込められたメッセージを感じ取ろうとする。

(美術への関心・意欲・態度)

②山田かまちの作品を鑑賞し、自分の言葉や文章で感じたことをまとめることができる。

(鑑賞の能力)

#### (2) 展開

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入 5分	1. 山田かまちの紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や資料を提示し、かまちのイメージを膨らませる。</li> </ul>	○資料を提示することによって、興味・関心を抱かせる。
	2. 学習課題の把握		
	作品に込められたメッセージを感じ取り、思いをまとめよう		
展開 30分	3. 絵画作品の鑑賞 「ナイフを持つ自画像」	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々に作品を鑑賞し、鑑賞カードにまとめる。</li> </ul>	○視点（形、色遣い）を与え、鑑賞の支援をする。
	4. 意見交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>班内で交流する。</li> <li>個々の鑑賞内容を班内でまとめ、発表する。</li> </ul>	○班内での交流により、色々な見方や感じ方を学び、興味・関心を深める。 【評価①】 ○異なる意見や感じ方、新しい発見や想像に共感させ、鑑賞を深める。

展開 30分	5. 山田かまちの略歴と作品の紹介 (プリント資料)	<ul style="list-style-type: none"> <li>彼の生い立ちや作品の出来た背景、時代や社会との関連に接しながら、作品に込められたメッセージを探る。</li> </ul>	○かまちの略歴をプリントや提示作品でたどりながら、絵画と内面性の関係に触れ、さらに興味・関心、読み取りの糸口とする。
	6. まとめ鑑賞カードへの記入	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の授業全体を通して、感じたこと・考えたことを自分の言葉や文章でまとめる。</li> </ul>	○かまちの夢と情熱、表現と生きることの意味を探り、生きる喜びを味わわせる。
終末 15分	7. 詩の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生きる」という詩から、かまちの最後のメッセージを感じ取り、まとめとする。</li> </ul>	○詩を範読し、生徒自身の「生きる」意味も考えさせたい。
	8. 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価により本時の学習を振り返る。</li> </ul>	○鑑賞カードの振り返り欄を記入させる。 「振り返り」の具体的視点 【評価②】 作品から感じたことは？ かまちが伝えたかったことは？ かまちの生き方から学ぶことは？等…

### (3) 板書計画

